

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	① 平成 28 年 12 月 21 日 (9:30 ~10:40)
	② 平成 28 年 12 月 23 日 (14 : 10~15 : 20)
	③ 平成 28 年 12 月 24 日 (13: 50~15:10)
	④ 平成 28 年 12 月 25 日 (13 : 30~14 : 40)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー	① 5人
	② 5人
	③ 4人
	④ 3人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	10人	3人	0人	13人

前回の改善計画	家族とコミュニケーションを図る機会は少ないが、日頃の送迎時には必ず挨拶や声かけを行い、年に一回程度、家族に日常的に困っていることはないか・・・等のアンケートを取り、情報収集をして支援に繋げていく。反応が薄い方にも時間を掛けながら少しずつコミュニケーションをとっていく。また職員は会議録にしつかり目を通し、不明な点があれば皆でその都度確認し合う
前回の改善計画に対する取組み結果	年に一回程度、家族に日常的に困っていることはないか・・・などのアンケートを取り情報収集をする計画であったが、連絡ノートにさえ目を通して頂けない家族も多く、アンケートを取っても回答して頂ける家族は限られると考え実施しなかったが、代わりに暮らしのまとめシートを活用することで補えたと思う

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	8	3	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	10	2	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	9	0	0	13

④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2	10	1	0	13
---	--	---	----	---	---	----

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
個人のニーズを出来るだけ把握するよう努め、職員間でも情報収集したことを共有している。顔馴染みの関係を築けるよう訪問したり無理強いしないよう本人の思いを大切にしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ケア会議の参加できない時は会議録や個人ファイルを確認するが、情報が多すぎて全てを把握しきれていないことがあり、情報の共有が曖昧で個人差がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
暮らしのシートの活用を継続し、家族からの情報収集に努める。また、職員は会議録にただ目を通すのではなく、しっかり理解・把握を出来るまで読み、各自意識改革を行う。	

事-①

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	① 平成 28 年 12 月 21 日 (9:30 ~ 10:40)
	② 平成 28 年 12 月 23 日 (14:10 ~ 15:20)
	③ 平成 28 年 12 月 24 日 (13:50 ~ 15:10)
	④ 平成 28 年 12 月 25 日 (13:30~14:40)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー	① 5 人
	② 4 人
	③ 4 人
	④ 3 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	9 人	2 人	1 人	13 人

前回の改善計画	<p>意思表示が出来ない利用者の方には一番身近で本人のことを知っている家族の意見を汲み取る。今の思いを意思表示するのは難しいが、センター方式を活用し家族に記入してもらうことで、本人がしていた仕事や過去などの以前の暮らしが把握できればより良いケアに繋げていける。また、ケアプランを把握していない利用者に関しては日々の関わりの中で必要だと思う支援を会議で話し合い、ケアプランに反映していけるようにする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>暮らしのシートやケアプランを家族に提出し、気づきを記入して頂いて状況把握に努めている。また、毎月のケア会議では利用者一人ひとりの状況を話し合い、それぞれの気づきをケアプランに繋げている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	6	6	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	10	1	1	13

③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	7	4	1	13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	9	1	2	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
暮らしのシートやケアプランを家族に確認してもらい、目標を明確にしている。本人の言動などもパターンシートに記入し、個々の情報や思いを把握出来るよう職員間で情報の共有に努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の思いと家族の思いが同じであるのか明確でない方も多く、全ての利用者の目標を把握しきれていない。自分の担当以外の利用者のケアプランなどには目を通すことが少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者それぞれの更新前月のケア会議で担当者だけでなく、職員全員でケアプランについて話し合うことで担当者以外の利用者の目標などの把握に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	① 平成 28 年 12 月 21 日 (9:30 ~ 10:40)
	② 平成 28 年 12 月 23 日 (14:10 ~ 15:20)
	③ 平成 28 年 12 月 24 日 (13:50 ~ 15:10)
	④ 平成 28 年 12 月 25 日 (13:30 ~ 14:40)

3. 日常生活の支援

メンバー	① 5 人
	② 4 人
	③ 4 人
	④ 3 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	10 人	1 人	0 人	13 人

前回の改善計画	日々の何気ない会話の中から知り得た以前の暮らしぶりを自分の中だけにとどめず、些細なことでも記録に残し職員間の情報共有に努める。過去の話をしたがらない利用者に対しても以前の暮らしを知ることは介護にとって大切であると理解を求めつつ無理のない範囲で話してもらえよう、バスハイクなどで昔懐かしい場所に行ったりしながらコミュニケーションを図っていく。また、暮らしのシートを活用して日々の支援につなげていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	日常会話の中で知り得た情報などは些細なことでも記録に残し、職員間の情報共有に努めている。また、暮らしのシートを活用し、本人や家族から情報を得られるよう努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	10	2	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	8	0	0	13

③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	9	4	0	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	9	0	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	0	11	2	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>症状や疾患に応じて観察ポイントや注意点、会話などから知り得た情報は些細なことでも申し送りやパターンシートに記入している。また、個々に合わせた食事や入浴、排泄などの基礎的な介護にも細心の対応をしている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>以前の暮らしぶりについては、認知の低下が進んでいる利用者や独居の方からの情報が得られにくく個人差がある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>利用者の方との会話の中で、昔行った兼六園やコスモスを見に行きたいといった遠方のバスハイク希望も多く聞かれる。今までは遠方だから・・・と最初から諦めていたことが多かったが、知恵をしばり可能な限り実現出来るよう取り組み、そこから得たことを日々の支援にも繋げていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	① 平成 28 年 12 月 21 日 (9:30 ~ 10:40)
	② 平成 28 年 12 月 23 日 (14:10 ~ 15:20)
	③ 平成 28 年 12 月 24 日 (13:50 ~ 15:10)
	④ 平成 28 年 12 月 25 日 (13:30 ~ 14:40)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー	① 5 人
	② 4 人
	③ 4 人
	④ 3 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	10 人	2 人	人	12 人

前回の改善計画	職員個々で地域資源について把握に努める。また、地域資源の一つである近隣の方には送迎時や訪問時などにお会いしたら笑顔で挨拶するなどし、日頃から関わりを持つ。特に独居の方に関しては可能な限り、訪問や電話を掛けるなどし、安否確認をすると共に本人の様子を把握出来るようにする。また、親族とも連絡を取り合い情報の共有に努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源に関しては、個々に研修に参加するなどして把握に努めており、近隣の方々にも送迎時や訪問時にお会いしたら挨拶している。利用者の方のニーズに合わせて訪問や電話を掛けるなど臨機応変に対応をしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	8	5	0	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	10	3	0	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	4	9	0	13

④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	3	6	4	13
---	-----------------------------------	---	---	---	---	----

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
コミュニケーションの中で自宅での様子などを聞きながら生活スタイルの把握に努めている。また、送迎時や訪問時には近所の方々にお会いした際に挨拶している。訪問や電話での安否確認の際にも本人に安心感を持ってもらえるような対応を心掛けている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源については、研修に参加するなどして把握に努めているが、職員の中でも把握に個人差があり、個々に合わせた活用方法が分からないことが多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域資源の活用には個人差があるが、個々のニーズに合わせて適切な対応をする。また、それに伴い近隣の方々には日頃から挨拶することを心掛け、民生委員や親族とも連絡を取り合い情報交換に努める。	

--

	① 平成 28 年 12 月 21 日 (9:30 ~ 10:40)
	② 平成 28 年 12 月 22 日 (14:30 ~ 15:30)
事一④	
	④ 平成 28 年 12 月 25 日 (13:30~14:40)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー	① 5人
	② 4人
	③ 4人
	④ 3人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	7人	5人	0人	12人

前回の改善計画
<p>本人と家族に小規模の特徴を説明し理解・協力を求め、本人と家族のニーズが違うこともあるので、本人に合ったサービスを提案し、サービス提供に繋げて本人の不安を取り除いて安心した生活が送れるよう支援していく。また、職員全員が地域資源について学び、理解した上で利用者本人に適切な地域資源を支援出来るよう努めていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>本人、家族には契約時や必要時に応じて小規模の特徴を説明し、理解・協力を求めて個々に合ったサービスを提案している。地域資源については研修に参加するなどして理解するよう努めている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	3	10	0	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	1	5	5	0	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	4	5	3	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	5	6	1	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者、家族の希望をくみ取り、個々のニーズに沿ったサービス提供を行い、送迎時間の変更や臨時利用に	

関しても柔軟な対応をしている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

少数ではあるが、本人と家族の思い（ニーズ）が違い、本人にとって納得できない家族本位のサービス提供になっていることがある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

家族が知り得ない本人の思いをくみ取り、家族と本人の思いが歩み寄れるようなサービスを提供し、本人、家族の在宅生活を支援する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	① 平成 28 年 12 月 21 日 (9:30 ~ 10:40)
	② 平成 28 年 12 月 23 日 (14:10 ~ 15:20)
	③ 平成 28 年 12 月 24 日 (13:50 ~ 15:10)
	④ 平成 28 年 12 月 25 日 (13:30 ~ 14:40)

6. 連携・協働

メンバー	① 5人
	② 4人
	③ 4人
	④ 3人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	6人	4人	1人	12人

前回の改善計画	本町サポートセンターをより多くの方々に知っていただけるような取り組みや、地域住民の方々に「サポートセンターに行ってみよう」と興味を持っていただけるような行事を企画していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	納涼祭や敬老祭、クリスマス・餅つきなど年間を通しての行事をはじめ、認知症カフェや介護教室などの行事を企画して一人でも多くの方々が来訪して下さるよう取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	2	2	7	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	0	1	9	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	8	0	1	12

④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	7	3	2	0	12
---	--------------------------------	---	---	---	---	----

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>医療機関や各サービス機関とは必要に応じて連携を図り、情報共有に努めている。また、会議に出席した際は報告し職員間でも情報を共有している。職員が中学校に出向き認知症についての講義を行ったり、中学生が総合の時間を使い福祉についての学習の為、来訪してくれている。認知症カフェや介護教室なども開催し、来訪者が増えている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>自治会の方や地域の方々には、サポートセンターのことは認知されるようになったが、まだまだ認知度は低い。また、納涼祭においても地域の納涼祭など日程が重なり、参加者が少なかった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>自治会や地域の方々がサポートセンターに求めることが分からないので、認知症カフェなどの参加者の方々に訊いたりしながらニーズを把握する。また、自治会の会合にもセンター長などサポートセンターの代表が参加させて頂き、コミュニケーションを図りながら両方のニーズ把握に努める。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	① 平成 28 年 12 月 21 日 (9:30 ~ 10:40)
	② 平成 28 年 12 月 23 日 (14:10 ~ 15:20)
	③ 平成 28 年 12 月 24 日 (13:50 ~ 15:10)
	④ 平成 28 年 12 月 25 日 (13:30 ~ 14:40)

7. 運営

メンバー	① 5 人
	② 4 人
	③ 4 人
	④ 3 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	1 人	7 人	2 人	人	11 人

前回の改善計画	小規模の特徴を説明し理解を求める。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人や家族には常日頃から小規模の特徴を説明し、理解・協力を求めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	2	4	3	2	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	10	1	0	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営	0	5	4	2	11

	に反映していますか？					
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	2	6	1	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者、家族からの意見や要望には前向きに受け止め対応している。地域の方々との関わりを大切にした取り組みを目指して認知症カフェや納涼祭をはじめとする行事を開催している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の方やボランティアの方など沢山の方々が来所して下さるが、対応する職員が固定されてしまっていることもあり、一部の職員しかコミュニケーションが図れておらず、地域の方々からの意見や苦情を把握しきれしていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
来訪者の方々の声をもっと沢山聞かせて頂けるよう、一部の職員だけでなく職員全体が順番に行事を担当できるように配慮していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	① 平成 28 年 12 月 21 日 (9:30 ~ 10:40)
	② 平成 28 年 12 月 23 日 (14:10 ~ 15:20)
	③ 平成 28 年 12 月 24 日 (13:50 ~ 15:10)
	④ 平成 28 年 12 月 25 日 (13:30 ~ 14:40)

8. 質を向上するための取組み

メンバー	① 5 人
	② 4 人
	③ 4 人
	④ 3 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	10 人	3 人	0 人	13 人

前回の改善計画	ケア会議の時だけでなく、月に数回その日出勤している職員で 10~15 分程度でもひやりはっとなんかについて話し合う。過去のひやりはっとなんかを再検討して、リスクが高いと予測されることに対して再認識する。
前回の改善計画に対する取組み結果	月に数回と決めているわけではないが、ひやりはっとなんかを回覧してその都度話し合いをしている。過去のひやりはっとなんかを確認してアクシデントが起きないように努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	9	0	2	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	7	2	2	13
③	地域連絡会に参加していますか	1	3	0	9	13

④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	10	2	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>リスクマネジメント研修に参加した職員の復命書や資料を回覧している。ひやりはつとを記入する際には職員間で対策を話し合っている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>再び同じようなアクシデントが起きないように対策を話し合っているが、アクシデントに対する意識が徐々に薄れてしまう為か繰り返し起きてしまう。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>ケア会議などで話し合ったことを各自しっかりと常に意識を持って対応する。小規模だけでなく、グループホームやデイサービスのひやりはつとも回覧し、リスクが高いと予測されることに対して再認識する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日
 ① 平成 28 年 12 月 21 日 (9:30 ~ 10:40)
 ② 平成 28 年 12 月 23 日 (14:10 ~ 15:20)
 ③ 平成 28 年 12 月 24 日 (13:50 ~ 15:10)
 ④ 平成 28 年 12 月 25 日 (13:30 ~ 14:40)

9. 人権・プライバシー

メンバー
 ① 5 人
 ② 4 人
 ③ 4 人
 ④ 3 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	7 人	0 人	0 人	12 人

前回の改善計画
入浴が同姓介助で対応出来ない時は、本人に説明し了承を得て行う。排泄に関しても言葉を選び、相手の立場になり、不愉快な思いをさせないように配慮する。
前回の改善計画に対する取組み結果
入浴や排泄に関しては、希望に応じて同姓介助で対応しているが、勤務の都合上、対応出来ない時は本人に説明して了承を得て対応している。排泄の声掛けも不愉快な思いをさせないように配慮している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	3	0	0	13
②	虐待は行われていない	10	3	0	0	13
③	プライバシーが守られている	3	10	0	0	13

④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	8	2	0	12
⑤	適正な個人情報の管理ができています	7	6	0	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>現在、身体拘束はしていない。 実子がおられない方など成年後見制度が必要だと思われる方には活用を提案している。 入浴や排泄介助など希望者には同姓介助を行っており、勤務の都合上で対応出来ない時は本人に説明をして了解を得ている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>トイレの声掛けなどは、難聴の方に対してつい大声で話してしまうことがある。 また、帰宅願望が強く何度も訴える利用者に対して投げやりな態度になってしまうことがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>排泄に関しては、不愉快な思いをさせないよう言葉を選び対応する。 帰宅願望の訴えが強い方に対しては、本人の思いを傾聴することを心掛け、自分の気持ちにゆとりがなくなる前に他職員と交代するなどして対応する。</p>	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	射水万葉会	代表者	朝野 智昭	法人・事業所の特徴	利用者一人ひとりの人格を尊重し、住み慣れた地域での生活を継続できるよう地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえ、通い、訪問、宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより地域での暮らしを支援する。
事業所名	本町サポートセンター	管理者	高岡 ゆう子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	3人	0人	3人	1人	0人	6人	0人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・「できていない点」を職員間で話し合い、達成に向けての取組みを掲げる。	・「できていない点」を中心に改善に向けて取り組んだ。		・職員全員が改善計画を把握し、達成に向けて取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	・不快感を与えないよう環境を整える。	・玄関にプランターを置き、利用者や来所者の方々に季節の花を楽しんでもらえるよう取り組んでいる。	・B-4の項目の「～玄関のカギはかかっていますか?」との質問は、意図している質問の仕方が曖昧で紛らわしい。(D-1も同様)	・来年度以降はB-4・D-1の項目の質問の仕方を検討する。
C. 事業所と地域のかかわり	・まだまだサポートセンターの認知度は低いので、些細なことでも気軽に相談に訪れることが出来るよう地域の方々と交流を図る。	・近隣の方々にお会いしたら挨拶をするよう心掛けている。	・世間の方は、本町サポートセンターで何をしているのか知らない人が多い。	・本町サポートセンターはどんな施設であるのか、沢山の方々に認知していただけるように地域の納涼祭や行事などにも積極的に参加して交流を深めていきたい。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・地域の方は、大事な地域資源なので今後も連携をとってニーズに応えていきたい。	・利用者宅の近隣の方々にも挨拶をして、困りごとなどあれば連絡をしていただけるよう声掛けをしている。	・どうしたら施設入所出来るのか?何処に相談すればいいのか?何処に包括があるのか?など知らない人が多い。 ・包括の職員が高齢者のサロンなどに出向き、取り組みを行っているので、相談などあれば気軽に声を掛けて欲しい。	・地域の納涼祭などの行事には、利用者の方々と一緒に積極的に参加していく。

E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員の方々に協力をしていただき、地域の心配な方の相談やサービス利用に繋げていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で委員の方々から情報を頂いている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で委員の方々から地域で困っている方の情報をいただき、包括や地域の方々と連携を取りながら必要に応じた対応を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の案内を近隣の方々だけでなく、利用者様のご家族に案内を出して、より多くの方々に参加していただけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苑内報などで開催をお知らせする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の案内は、連絡ノートに記入してもらえると解りやすい。 ・防災訓練は、平日だと出にくく土曜日だと参加しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の案内は、苑内報のほか、利用者様のご家族には連絡ノートにも記入しお知らせする。 ・防災訓練の日時は、土曜日の実施を検討し、消防などにも協力を求める。

